

# Rainger FX



## Dr. Freakenstein Chop Fuzz

### 取扱説明書

(株) アンブレラカンパニー

[www.umbrella-company.jp](http://www.umbrella-company.jp)

\* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

# Rainger FX Dr. Freakenstein Chop Fuzz

---

Dr. Freakenstein Fuzz をご購入いただきありがとうございます！ Rainger FX の実験ラボで生まれた、最もエクストリームなエフェクトペダルです。怪奇なモジュレーションとハードなトレモロエフェクトが融合したファズペダルをどうぞお楽しみ下さい。

## CONTROLS

---

**Knifedswitch:** ペダル中央のナイフスイッチはペダルのマスター電源です。9V アダプターを繋いで、ナイフスイッチを下に切り替えるとペダルの電源が入ります。

**ON/OFF:** Dr. Freakenstein のオンオフを切り替えるフットスイッチです。（ハードワイヤード・トゥールバイパス）

**OVERTONE:** ドライブサウンドのハーモニーを調整します。内部のノイズゲートのおかげで、極端な設定でもプレイの間は完全に無音になります。

**VOLUME:** ペダルの出力ボリュームを調整します。

**MOD. ON/OFF:** OVERTONE へ適用する LFO モジュレーションのオンオフを切り替えます。このとき OVERTONE はモジュレーション幅を設定するコントロールになります。

**LFO RATE:** モジュレーション速度を設定します。モジュレーションしているときのみ有効なコントロールです。速度は eye メーターの LED で表されます。

**CHOP RATE:** チョップトレモロの速度を設定します。速度は eye メーターのストロボ LED で表されます。

**CHOP:** ペダル上部のスイッチでチョップトレモロを有効にします。MOD ON/OFF スwitch が on になっている必要があります。

**HI/LO:** ペダル上部のスイッチで overtone の intensity を切り替えます。

## Igor :

感圧式パッドを搭載したユニークなコントローラーです。ペダル上部のジャックへ接続すると、リアルタイム OVERTONE またはトレモロのオンオフをコントロールできます。

Igor はどちらの面を表にするかで、2つの感度を設定できます。Igor のロゴがある硬い面を上にとすると、操作に強い入力が必要になります。床に置いて足で操作するのに最適です。黒いパッド面を上にとすると感度が高くなり手での操作が可能になります。



## NOTE

- ・ファズのゲインは固定です。下げる必要なんかありませんよ？
- ・ペダルのボリュームノブはドライブ回路の後に配置されるパッシブのコントロールのため、ファズドライブ量を下げる目的には使用できません。
- ・LFO は OVERTONE をモジュレーションさせるコントロールなので、原音にのみ適用はできません。
- ・チョップトレモロはディストーション回路を加工して作り出されているので、ファズ無しで使用することはできません。
- ・LFO 無しでチョップトレモロを使用はできません。チョップトレモロを使うには LFO がオンになっている必要があります。
- ・ノイズゲートの調整、オンオフはできません。常に有効になっています。
- ・ナイフスイッチは安全な設計になっているので感電の心配はありません。ペダルをアダプターに繋いでも、ナイフスイッチを下にしない限りペダルはオンになりません。

- ・ eye メーターは入力に合わせて反応しますが、VU メーターではありません。
- ・ Dr. Freakenstein はギターのパリウムがフルな状態で最適な動作になります。ノイズゲートが搭載されているため、ボリュームが下がっているとゲートが早く作動しサスティンが失われてしまいます。
- ・ 通常のエクスプレッションペダルの使用は想定されていませんが、恐らく可能です。その場合はミニジャックへの変換が必要です。
- ・ Igor コントローラーを他のペダルでエクスプレッションペダルのように使用することも可能です。その際はジャックの変換が必要です。
- ・ スタンダードな 9V センターマイナスの電源アダプターで動作します。電池は使用できません。
- ・ ツールバイパス

